

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日

令和7年5月28日(水曜日)

タイトル

当麻町田んぼの学校(田植え)

水土里レポーター名

小野寺 孝 一

11年(11回目)を迎えた当麻町田んぼの学校「田植え」実施する！



田植え開始です



北海道を代表する花「スズラン」

田んぼの学校とは？

◇全国的にも例のない、町が所有する「田んぼの学校」

約2ヘクタールの敷地に、3区画の水田と農舎を有し、そこで当麻町が進める三育(食育・木育・花育)の「食育」がスタートします。

開校した2015年から多くの町民皆様のお力添えを頂きながら、田植えや稲刈りを行って来ました。

収穫したお米(7,000kg)は町内の小・中学校・幼稚園1年分の給食となります。



◇ 村椿実行委員長あいさつ

令和7年5月27日(火) 午前10時30分から
実行委員長：村椿哲朗当麻町長の挨拶後、当麻小
(131名)、宇園別小(3名)、当麻中(63名) 地
域ボランティア(200名) 計 約400名が気温2
0℃のなか、約1時間「田植え」に挑戦しました。

なかには足が抜けなくなり、転倒して泥んこになりながら丁寧に苗植えをしていました。

秋になって収穫して美味しいご飯を食べたいです。と笑って話していました。(小学6年男子)



前日から女性連絡協議会とボランティア会の方々が500名分のカレーライス🍛を用意してくれました。

皆で食べると美味しくて3杯食べました。



10月には収穫祭(稲刈り体験)を実施しますのでボランティアで参加してみても…